



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	減災学				
2. 教員名	小野田 敏行		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

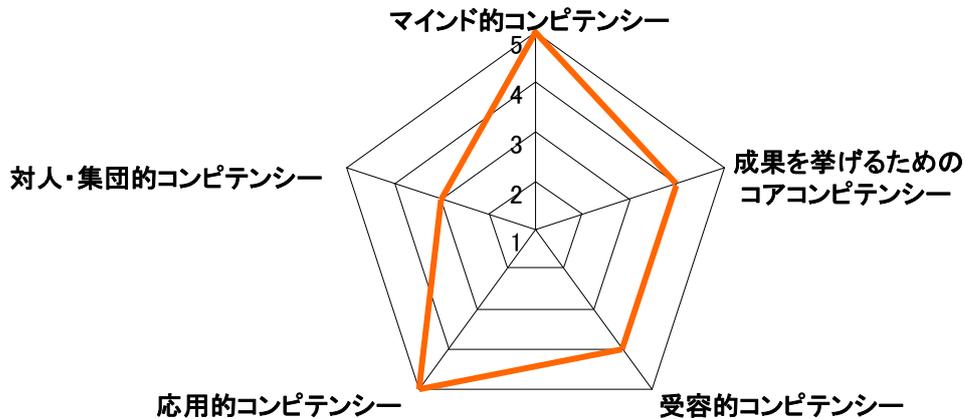
7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>1) 危機管理の一つとして、火災に関する知識・知恵を身につける。</p> <p>2) 火災のメカニズム、火災・消防の歴史、地震時の火災等に関し、広範かつ専門的な知識を修得する。</p> <p>3) 阪神・淡路大震災時の行政、市民、事業者の活動について学び、自助・共助・公助のあり方を理解する。</p> <p>4) 消防の仕事を理解し、消防職員を志望する参考とする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>1) 火災に関する専門的知識、建物防火、消防の歴史、自助・共助・公助のあり方等について説明できる。</p> <p>2) 日常生活の中で火災について関心を持つことができ、安全・安心な社会づくりに貢献できる。</p> <p>3) 職場や地域社会の中で、建物防火及び自主防災活動の推進について、リーダーシップを発揮することができる。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
火災、建築防火、地震時の火災・消防活動、自助・共助・公助、消防実務					
9. 授業の進め方（神）授業の方法（東）					
授業は講義形式で行う。					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）					
参考書 はじめて学ぶ 建物と火災（公社）日本火災学会編（共立出版）					
11. 授業時間外に必要な学習（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
各テーマの予習、復習					
12. 提出課題など（神）					
レポート					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
授業態度50% 期末レポート50%					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
火災や消防に関し、関心を持って臨むこと。					
15. 参考（オフィスアワー（工）等）					

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	講義の内容、進め方、評価基準について説明する。
第2回	火災理論	燃焼、消火等の火災に関するメカニズム等について理解する。
第3回	火災統計	火災件数、出火率、火災原因等について理解する。
第4回	火災の歴史	我が国の大火、ビル火災の歴史について理解する。
第5回	常備消防	常備消防の歴史、役割の拡大、消防法・消防組織法等について理解する。
第6回	消防団	消防団の歴史、活動、常備消防との関係等について理解する。
第7回	建築物の火災	建築物の火災時における煙の性状、避難行動等について理解する。
第8回	建築物の防火対策	建築物の消防用設備等・防火管理、消防査察制度等について理解する。
第9回	住宅防火対策	火災予防、住宅防火対策等について理解する。
第10回	地震時の火災・消防活動（1）	阪神・淡路大震災における火災状況、消防活動について理解する。
第11回	地震時の火災・消防活動（2）	中越地震、東日本大震災、熊本地震における火災状況、消防活動について理解する。
第12回	南海トラフ地震、首都直下地震対策	南海トラフ地震、首都直下地震における被害想定、消防活動計画について理解する。
第13回	阪神・淡路大震災から学ぶ、自助・共助・公助のあり方	阪神・淡路大震災時の行政、市民、事業者の活動について学び、自助・共助・公助のあり方を理解する。
第14回	消防実務	消防業務、火災・救助現場活動等について理解する。
第15回	まとめ	学習内容を総括し、理解度を深める。

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。  
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)



**コメント**

本講義では、特に「マインド的コンピテンシー」と「応用的コンピテンシー」の向上を目指す。  
社会貢献意識、防災意識、知識活用力の向上に力を入れる。